

秋の利根運河で歴史散策ウォーク

～元禄から明治に至る東深井村の風景と利根運河～

イベント開催報告
(平成 27 年 11 月 6 日 開催)

主催：
流山市 商工課
流山本町・利根運河ツーリズム推進室



左手に利根運河、右手に広大な谷津を眺めながら、秋晴れの気持ちいい空の下、開放的な運河空間をゆったりとウォーキング。

東葛自然と文化研究所 所長の新保國弘さんのガイドで、流山市東深井地区を中心とした利根運河周辺エリアに残る昔の風景や人々の営みの痕跡をたどりました。石碑に刻まれた文字や古文書などを読み解き、所縁のある人々を訪ねながら築かれた、新保さんの豊富な知識と巧みな解説に導かれながら、この地の歴史を体感しました。



理窓公園

古くは集落があり、稲作を営みながら湿地や周辺の森の環境を保ってきた。(千葉県北西部では、こうして維持された地形を「谷津」と呼ぶ)

午前

東京理科大学野田キャンパスの周辺は、明治初期の村人から「九十九出張り」と呼ばれた風景の名残があり、特に理窓公園(理科大創立 100 周年を記念した公園)では昔の谷津地形をとどめています。地形を活用して開削された利根運河の景観とあわせて、明治初期のこの地の風景に思いを馳せました。現在、理窓公園では、理科大・東邦大の先生や学生、市民の有志により湿地再生の取り組みが行われています。その取り組みで造成した池の様子や、池に利根運河から魚が登れるよう、魚道の設置が予定されている境田排水樋管を見学しました。



湿地再生箇所

平成 27 年 2 月に造成された池を覗くとメダカなどの水生生物の姿が。大学生らが定期的に管理や調査を実施している。



合格神社(理科大キャンパス内)

祀られている山神宮は、天保の頃、この地で林業を営んでいた堺屋清五良が建立したもの。堺屋は現西深井の石井本家の屋号で、昼食に立ち寄った「Brasserie しんかわ」は分家にあたる。

昼食



築90年を超す歴史ある家屋



「Brasserie しんかわ」

千葉県流山市西深井 805

TEL: 04-7196-7633

営業時間 (月曜定休)

ランチタイム

11:00~15:30 (LO. 14:30)

ディナータイム

17:30~22:00 (LO. 21:00)

利根運河沿いにあるフレンチの名店「Brasserie(ブラスリー)しんかわ」で美味しいランチをいただきました。午前中の散策についての話題で盛り上がり、つい、長居をしてしまいました……。

午後

フランス料理と建物の雰囲気を堪能した後は、江戸時代、日光勤番大名が小休止した小倉弥右衛門の屋敷跡を目指しました。日光東往還(日光脇往還)沿いに今も残る道標から、弥右衛門の屋敷跡にたどり着きました。最後に、利根運河開削の設計・工事監督であったオランダ人技師ムルデルが寄宿した矢口家を訪れました。



浅間大神

小倉弥右衛門の銘文がある。明治初期、当地域は富士山信仰最盛期だったと思われる。



ムルデル宿舎跡(矢口家)

利根運河開削工事の際、約2年間ムルデルが寄宿したという説があるが、なお調査が必要。



日光東往還の道標

成田山塔に刻まれた道標。この場所には道標とともに道六神(道祖神)があり、日光東往還を通る大名や、江戸川や利根川を渡ってきた旅人を導き守っていた。

【利根運河協議会より】

本イベントは、利根運河周辺地域の環境保全やにぎわい創出を目指し組織された「利根運河協議会」において、利根運河の魅力を広めるための「しかけ」の一つとして検討が進められ、流山市主催で開催されました。利根運河協議会では、今回のイベント結果や参加者の皆様からいただいたご感想をもとに、今後のより良い「しかけ」づくりや、利根運河周辺の環境整備を推進して参ります。

また、今回見学した理窓公園の湿地再生箇所ではかつての環境の復元を目指して、平成28年2月14日、21日に、新たに水田を造成する予定です。みなさまのご参加をお待ちしております。

★イベント情報の発信や利根運河協議会の活動報告を行っています★

利根運河エコパーク HP <http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00183.html>

現在の再生湿地の様子 <http://toneunga.blog.so-net.ne.jp/>

